

## ライセンスモジュールの削除と作成(32 bit OS)

---

**対象製品** Arcserve Backup 18.0/17.5/17/16.5/16/15/12.x/11.x/9, UDP 8.0/7.0/6.5/6/5, D2D r16.5/16/15

---

ライセンスキーを登録してもトライアル版と認識されてしまうなど、ライセンスキーがうまく登録できない場合は、下記手順にてライセンスモジュールの削除と作成作業後、ライセンスキーを再登録後、事象が改善されるかをご確認ください。

### 注意事項

#### 【x64 版をお使いの場合】

作業手順が異なりますのでこちらの資料を参照してください。

#### 【32 bitOS をお使いの場合】

本資料を参照し作業を行ってください。

なお、Arcserve Backup r17 ~ 18.0 及び Arcserve UDP v6 ~ 7.0 のバージョンについては、下記手順の「r17/v6~18.0/7.0」欄を参照してください。

Arcserve UDP 8.0 のバージョンについては、下記手順の「UDP 8.0」欄を参照してください。

Arcserve Backup r16.5 以前 及び Arcserve UDP v5 以前のバージョンについては、手順の「r16.5/v5 以下」欄を参照してください。

両者を混在で利用される場合は、それぞれで削除と作成の作業を行う必要があります(作業の順番はどちらが先でも問題ありません)。

また、Arcserve UDP v5 を継続的に使用する場合は、Arcserve UDP v6 とは混在させず、Arcserve UDP v5 コンソールで構成し運用してください。より安定した運用の為、早期のアップグレードをお勧めします

詳細は下記資料をご確認ください。

Arcserve UDP v6.0 へのアップグレードおよび v5.0 との混在環境に関する注意点

<https://support.arcserve.com/s/article/208025366?language=ja>

#### 【ARCserve r11.1 以下の場合、またはアンインストーラ用のモジュールがない場合】

下記手順にてうまくいかない場合は、お手数ですが、下記ページをご参照いただき、ライセンスキー登録状況のログを弊社ライセンスデスクまでお送りください。弊社ライセンスデスクにて引き続き調査いたします。

<https://www.arcserve.com/wp-content/jp/uploads/2017/04/lic-080020011-jp.pdf>

## 作業手順

### 1. ライセンスモジュール削除

- (1) Arcserve インストールパスに存在するアンインストーラ用のモジュール (lic98\_uninstaller.zip)をデスクトップなど作業領域にコピーして解凍して下さい。

※デフォルトで下記パスに保存されています。

[フォルダの場所]

バージョン	フォルダ
UDP 8.0	C:\Program Files\Arcserve\SharedComponents\CA_LIC\lic98_uninstaller.zip
r17/v6~18.0/7.0	C:\Program Files\Arcserve\SharedComponents\CA_LIC\lic98_uninstaller.zip
r16.5/v5 以下	C:\Program Files\CA\SharedComponents\CA_LIC\lic98_uninstaller.zip

解凍すると下記ファイルが展開されます。

- rmllicence.bat -> rmllic.exe 実行用バッチファイル
- rmllic.exe -> ライセンス削除用モジュール

- (2) rmllicence.bat を実行します。

rmllic.exe が起動しますので起動した DOS Window メッセージに従い実行してください。

ライセンス関連情報(ファイル、レジストリ)の削除処理が実施されます。

### 2. ライセンスモジュール作成

- (1) Arcserve コンソール等、製品の関連コンポーネントを終了します。
- (2) OS のサービス画面やレジストリエディタが起動している場合は終了します。
- (3) 下記 URL より最新版のライセンスモジュールをダウンロード頂き、解凍後、ライセンスモジュールインストールプログラム(silent.exe)を実行します。

Windows 向けライセンスモジュールインストールプログラム入手先

バージョン	URL
UDP 8.0	下記「補足1 Arcserve UDP 8.0 用ライセンスモジュールインストールプログラム(Silent.exe)を入手する方法」を参照してください。
r17/v6~18.0/7.0	<a href="https://downloads.arcserve.com/PatchesRoot/arcserve/r18/patches/P00001715.zip">https://downloads.arcserve.com/PatchesRoot/arcserve/r18/patches/P00001715.zip</a>
r16.5/v5 以下	<a href="https://www.arcserve.com/wp-content/jp/uploads/2017/04/lic-080010013-jp.pdf">https://www.arcserve.com/wp-content/jp/uploads/2017/04/lic-080010013-jp.pdf</a>

※ 当モジュール実行中はサイレントインストールとなる為、開始、終了などのメッセージなどは表示されません。  
導入は 1~3 分ほどで終了します。

- (4) CA\_LIC フォルダが生成され、Event Log Watch サービスが開始している事を確認してください。

◆補足1 Arcserve UDP 8.0 用ライセンスモジュールインストールプログラム(Silent.exe)を入手する方法

(1) ASDownloader.exe を下記 URL からダウンロードします。

[https://downloads.arcserve.com/arcserve\\_family\\_products/Arcserve\\_UDP\\_8.0/RTM/Single\\_Installer/ASDownloader.exe](https://downloads.arcserve.com/arcserve_family_products/Arcserve_UDP_8.0/RTM/Single_Installer/ASDownloader.exe)

(2) ダウンロードした ASDownloader.exe を実行し Arcserve UDP 8.0 の製品メディアデータをダウンロードします。

このダウンロードでは製品のインストール自体は行われません。

ダウンロードするコンポーネントの選択で Arcserve Unified Data Protection のみダウンロードしてください。

Arcserve Backup のダウンロードは不要です。

ダウンロードが完了すると下記位置に Silent.exe が作成されています。

Arcserve\_UDP¥Arcserve\_UDP¥IntelINT¥LICENSE¥Silent.exe

◆ 補足 2 ライセンス登録時に(0x000014c9)5321 エラーが発生する場合の対策

Arcserve Backup r16.5/Arcserve UDP v5 以下のバージョンに関して、ライセンスボタン押下時に (0x000014c9)5321 エラーが発生する場合、以下の対策を行ってください。

-----  
BrightStor ARCserve Backup

以下のエラーが発生しました。

(0x000014c9)5321  
-----

(1) 下記 CA\_LIC フォルダにある、lic\_comp\_codes.dat をリネームします。

< ¥Program Files¥CA¥SharedComponents¥CA\_LIC >

(2) 製品メディアまたはダウンロードした製品メディアデータの以下フォルダにある lic\_comp\_codes.dat を上記(1)の CA\_LIC フォルダにコピーしてください。

< ¥IntelINT¥LICENSE¥LICENSE¥JP >

◆ お問い合わせ:

Arcserve ライセンスデスク

<https://www.arcserve.com/jp/jp-resources/licensing/>